



コバトン&さいたまっち



令和元年度病虫害発生予察注意報第2号

令和元年5月10日
埼玉県病虫害防除所

**チャハマキ越冬世代成虫の発生が、平年より非常に多く発生しています。
このため、第1世代幼虫の多発が予想され、二番茶芽が被害を受け収量が低下
するおそれがあります。
茶園での発生状況に注意して防除を徹底しましょう。**

作物名 チャ
病虫害名 チャハマキ

1 注意報の内容

- (1) 発生地域 県内全地域
- (2) 発生程度 多

2 注意報発表の根拠

- (1) 埼玉県茶業研究所の予察灯調査によると、5月第1半旬までのチャハマキ越冬世代成虫の誘殺数は、1,683頭と平年値119頭（平成21年から平成30年までの平均）の約1.4倍となっており、平年よりかなり多くなっている。
- (2) 当所でのフェロモントラップ調査でも、チャハマキ越冬世代成虫の誘殺時期は平年より早く、誘殺数も多くなっている。
- (3) 令和元年5月9日気象庁発表の関東甲信地方1か月予報によれば、向こう1か月の平均気温は、高い確率50%、降水量は少ない確率40%とされているため、第1世代幼虫の発生は助長されると予想する。

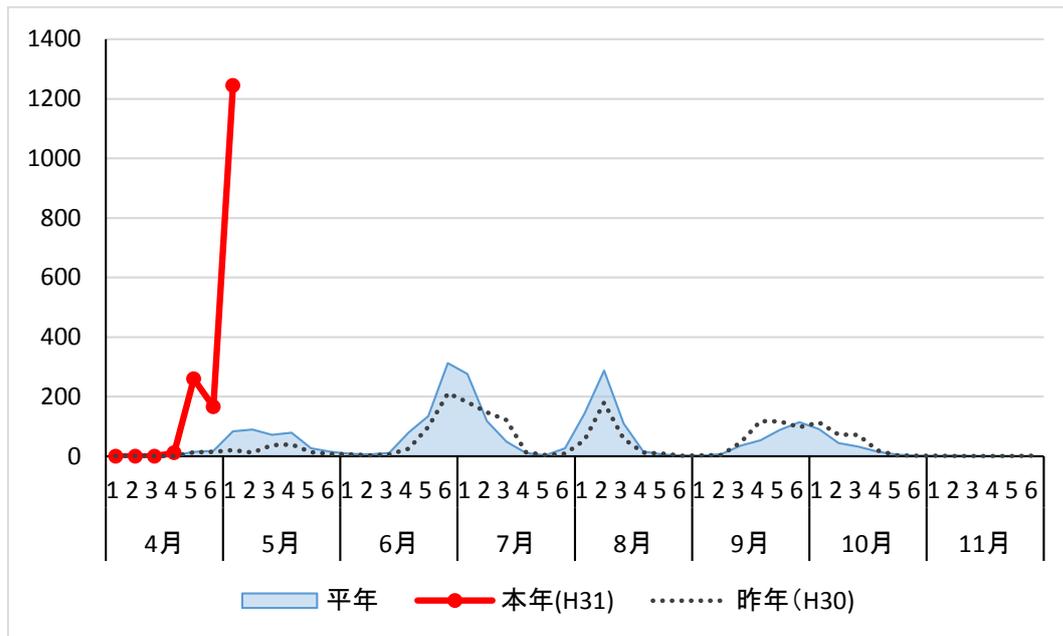


図 チャハマキの予察灯への誘殺数（埼玉県茶業研究所）

3 防除対策

- (1) 圃場での発生状況を確認し、若齢幼虫期をねらい使用時期に注意して薬剤散布を行う。防除時期が、一番茶の摘採と重なることが予想されることから、周辺圃場へのドリフトに十分注意する。
- (2) 病害虫防除所では、ハマキムシ類の4月からのフェロモントラップによる捕殺数のデータをホームページ上に掲載しているのので、発生動向を確認し薬剤散布時期の参考にする。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0916/bojo/date20141211.html>

- (3) 深刈り等更新処理を行い、生息密度を低減させることが可能である。

表2 チャハマキの防除薬剤例

薬剤名	IRAC コード	使用時期	使用 回数
ディアナSC	5	摘採前日まで	1
アフーム乳剤	6	摘採7日前まで	1
チューンアップ顆粒水和剤	1 1 A	発生初期（但し、摘採前日まで）	—
マッチ乳剤	1 5	摘採7日前まで	1
ファルコンフロアブル	1 8	摘採7日前まで	2
サムコルフロアブル10	2 8	摘採3日前まで	1

（使用基準は令和元年5月7日現在）

4 問合わせ先

埼玉県病害虫防除所 電話：048-539-0661

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 5 農薬の最新情報は、埼玉県農産物安全課ホームページをご覧ください。

http://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/nouann/saishintourokujouhou.html?_mode=preview